



学校だより

平成 29 年 4 月 28 日
5 月号
調布市立第一小学校
校長 富岡 雅裕

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

災害に備える

副校長 西 澤 圭 一

やっと満開になったと思った桜があつという間に散り、気が付けば新緑が鮮やかな季節となりました。

今年も 4 月 22 日（土）に「調布市防災教育の日」が実施されました。午前中は授業参観と講演会、午後は避難所開設訓練を行いました。大勢の方の御参加、ありがとうございました。

防災教育の日のめあては次の 2 点です。

- ・ 防災への意識を高めること
- ・ 自らの身を守るための知識を身に付けること

災害の時に落ち着いて適切な行動ができるようになるためには、

- ① 様々な状況への対処の仕方を知ること（知識）
- ② 状況に応じて行動を選択すること（判断）
- ③ 様々な想定をして準備をしておくこと（予見）

の 3 つを身に付けることが必要です。学校では毎月の避難訓練で、基本的な知識や態度を身に付けるよう指導しています。そして、防災教育の日に、普段の学習以上に集中して「災害時の身の守り方」について考えることで、より一層の理解や判断と命を守る態度を高めることができるようにしています。災害から身を守るための知識を身に付けるために参考になるのが「東京防災」です。各御家庭にも配られていると思いますが、意外とその中身はじっくり御覧になる機会が少ないのではないのでしょうか。「防災教育の日」を機に、内容を御確認ください。

午後は、避難所開設訓練を行いました。調布市の初動避難所要員、避難所担当職員、「いっしょう

ふれあいネットワーク」の方々、教職員を中心に、避難所開設訓練を行いました。

今年の避難所開設訓練の目的は、避難所運営マニュアルの理解と課題の明確化でした。

災害が起きたとき、学校は避難所になる可能性があります。東日本大震災では、避難所の開設の初期には学校職員が中心となり、その後、地域の方々が運営の中心になっていったそうです。教職員、地域の方々が迅速に、適確に判断し、避難所を運営していくための拠り所となるものが「避難所運営マニュアル」です。（市のホームページからダウンロードできます。）今回の訓練では、市、地域、学校が協力してマニュアル通りに避難所を開設する作業を初めて行いました。実際に行うことで理解が深まったり、課題が見えてきたりしました。「避難所運営マニュアル」改訂の参考にします。

なお、この訓練の企画・運営に当たっては、地域の「いっしょうふれあいネットワーク」の方々が中心となって進めてくださいました。第一小学校の学区にお住まいのより多くの方の御協力も賜わり、避難所が円滑に運営できればよいと思います。

各御家庭におきましては、

- ・ 災害に備えての食料や避難バッグの用意
- ・ 家族の集合場所

等について話し合い、十分な備えをしておくことが必要です。十分な備えが安心につながります。

学校でも、年間を通じての防災教育を続け、知識、判断、態度を高めていけるようにして参ります。

5 月の生活目標 廊下・階段は静かに歩こう。

廊下や階段を静かに歩行することは、安全に気をつけ、落ち着いて生活する上で大切なことです。廊下・階段歩行のルールを身につけさせると同時に、楽しく明るい学校生活を送ることができるようにしたいと思います。

1年生を迎える会

特別活動部

五味 伸悟

4月14日に1年生を迎える会が体育館で行われました。1年生は6年生のお兄さん、お姉さんと一緒に手をつなぎ、首には3年生が一生懸命に折り紙で作ったペンダントをかけて元気よく入場してきました。会場では4年生の花のアーチや5年生のメッセージボード、大きな拍手が1年生を出迎えました。全校児童で校歌を歌ったり、2年生からは昨年度大切に育てて取ったアサガオの種をプレゼントしたりするなど、温かい雰囲気の中、会が進みました。また、集会委員が学校生活について〇×クイズにして紹介し、1年生は第一小学校のことを楽しみながら知ることができました。最後には感謝の気持ちをこめて、1年生から歌のプレゼントがありました。大きく口を開け、一生懸命に歌う姿がとても素敵でした。

1年生は初めての学校生活に期待や不安があると思いますが、お兄さん、お姉さん、そして先生方がいつも力になってくれます。毎日、笑顔あふれる学校生活を送ってほしいと思います。



調布市防災教育の日

生活指導部 避難訓練担当 小林 悦子

4月22日（土）に行われた防災教育の日は、多くの保護者の皆様と地域の方々に授業参観と訓練への参加をいただき、ありがとうございました。

午後には避難所設営のための訓練を行いました。一小ふれあいネットワークの方々を中心に備蓄倉庫内の見学や施設の安全点検、禁止区域の表示、体育館内にブルーシートを敷いての避難所設営しました。その後、参加者が避難者となって受付をしたり、携帯トイレの使用方法を聞いたり、食料の配給を受けたりしました。備蓄倉庫内の見学やトイレの使用方法や処理方法を聞くことができたのは、いざという時のために大変参考になりました。また、勝手な判断で動かずに指揮官の指示を仰いで動くことや体育館内の表示をどうするかなど実際に避難所を設営するために必要なことがいろいろ見えてきました。

いざという時には互いに助け合う共助の力を高めていけるよう、日頃から保護者の皆様と地域の方々との連携することの大切さを痛感しました。ご協力ありがとうございました。



算数習熟度別指導について

習熟度別指導担当 水野 竜介

3年生から6年生までの算数の授業では、3学級を4コースに分けて習熟度別の授業を行っています。「自分の力に合った環境で、分かる・できる・楽しい学習がしたい」という児童の願いを大切にしています。主なコースの分け方は以下の通りです。

【ねこコース】ふく習をしながらじっくりていねいに学習をすすめるコース

【かえるコース】教科書と同じペースでふりかえりながらしっかり学習をすすめるコース

【ぞうコース】むずかしい問題に挑戦したり学習をどんどんすすめたりするコース

新しい単元が始まる前に児童は準備テストを行い、新しい単元に必要な学習内容が定着しているかどうか自分で判断します。そして、そのテストの結果を基にして自分でコースを選択します。習熟度別学習では、自分の力を知ってコースを選択する能力も養っています。

コースによって学習の進度や学習内容が異なることもありますが、どの児童も自分の力を伸ばすために精一杯学習しています。

5月の行事予定

日	曜	主な行事
1	月	朝会 委員会 遠足(1) 内科検診(3・4)
2	火	遠足(2) 内科検診(5・6)
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	朝会 避難訓練 運動会係打ち合わせ 内科検診(1・2・ひ)
9	火	校外学習(3) 耳鼻科(1・2・ひ)
10	水	美化デー 眼科検診(全)
11	木	校外学習(3)
12	金	読書タイム
13	土	
14	日	
15	月	朝会 5時間授業 運動会特別時間割(始)
16	火	耳鼻科検診(3・4)
17	水	耳鼻科(5・6)
18	木	運動会全校練習
19	金	読書タイム 運動会全校練習
20	土	
21	日	
22	月	朝会 運動会係打ち合わせ
23	火	運動会全校練習
24	水	
25	木	運動会全校練習(予備)
26	金	読書タイム 運動会準備(5・6) 1～4年生4時間 授業
27	土	運動会
28	日	運動会予備日
29	月	振替休業日
30	火	月曜時間割 あいさつ運動始 家庭訪問(ひ) 5時間授業
31	水	
6 ／ 1	木	安全指導 ふれあい月間始 食育月間始 体力テ スト(2・4・6・ひ)5時間授業 家庭訪問(ひ)
2	金	5時間授業 体力テスト(1・3・5) 家庭訪問(ひ)
3	土	
4	日	

29年度運動会

体育行事委員会 計良 哲也

今年度の運動会は下記の通りの日程で開催いたします。御多用中のことは存じますが、児童が全力で取り組む姿を御参観いただき、御声援をくださいますよう御案内申し上げます。後日、運動会のお知らせとプログラムを配布いたします。そちらも御確認をよろしくお願いいたします。

日時 平成29年5月27日(土)
8時45分～15時
(5月29日(月)は振替休業日になります。)

校庭近隣への影響や、保護者の皆様に気持ちよく御参観いただくことを考慮し、今年度より変更した点があります。

①校庭内は立ち見席のみとなります。学校用のブルーシートが敷いてある場所は、乳幼児スペースとなります。

②昼食場所として、ピロティー・体育館・立ち見席を御利用いただけます。

なお、ピロティー・体育館は11時より開放しますが、立ち見席は午前の部終了後からの開放となりますので、御了承ください。

学年や学校としての団結力や、自分自身の成長を児童一人ひとりが感じられるよう、教職員一同全力で指導にあたっております。

御家庭でもお子様を励ましていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

水筒の使用について

副校長 西澤 圭一

水筒の使用についてお知らせします。例年は気温の高い時期に限定しておりましたが、通年で御使用いただいて結構です。なお、昨年度、水道管の直結工事を行ったため、水道水の安全性は高まっています。

水筒の使用に当たっては以下の点に御注意ください

- ・水筒の中身は、水のみ。(氷を入れることは可)
- ・必ずその日のうちに持ち帰り、管理は本人及び家庭でお願いします。
- ・水筒には、必ず記名し、衛生面に十分配慮してください。
- ・友達に自分の水筒の水を飲ませないことを徹底できるようにしてください。